

平成 29 年度 島根県オープンデータアイデアソン － 開催レポート －

H30.1.30 島根県地域振興部情報政策課

1. 開催概要

日時：平成30年1月26日（金）13時30分～17時

場所：松江テルサ 4階 大会議室（島根県松江市朝日町）

主催：島根県、中国情報通信懇談会

参加者：49名（民間・NPO 法人・研究機関：13、行政職員：36名）

※1月27日（土）は中止となりました

2. イベントの様子

■主催者挨拶

島根県地域振興部情報政策課長より、「地域の活性化に貢献している方やITベンダーの方と行政職員とで、多様な意見交換を通じて活発な議論を期待したい。」旨が述べられました。



■テーマに関するインプット

議論に必要な参加者への情報提供（≒インプット）として、県より説明を行いました。県の「IT」と「定住」を所管するそれぞれの課の担当者から、施策の課題等について説明しました。



■ アイデアソン

(1) 議論・ワールドカフェ

定住をメインテーマにした6テーブルと、ITを中心にした2テーブルに分かれて議論を実施しました。



議論は、「課題設定→解決後の姿→必要な情報（データ）」の流れでアイデア出しを行いました。



テーブルで議論を行った後は、ワールドカフェ方式により、一旦、テーブルホストを残して全てのメンバーが他テーブルへ散って情報を交換しました。（定住×IT）



(2) とりまとめ・成果発表

メンバーは元のテーブルに戻り、他から得た情報を基に議論の内容をブラッシュアップし、各グループから3分ずつ成果発表を行いました。



図表：アイデアソンでのワーク結果（定住テーブル①の例）

課題設定	移住希望者が住んだ時のイメージができない！
解決後の姿	<ul style="list-style-type: none">・ビッグデータによる検索機能の強化・口コミサイト ※フェイク記事や荒らしの問題等の問題はある（・高校生の書き込み）・意見交換サイトの立ち上げ、あるいは連携
必要な情報（データ）	<ul style="list-style-type: none">・生活圏の生活情報（交通、病院、仕事、物価、趣味、子育て、食）・自治体の支援制度・書き込みによる意見→情報の追加が可能。データの広がり。

(3) 講評

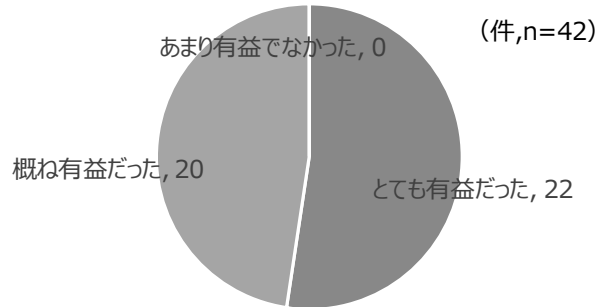
全体進行を務めていただいた島根大学中野助教からは、「短時間で密度の濃い議論ができた。」「今回だけで終わらせるのはもったいない。こうした対話の継続が大切。また、対外的にいかにして島根をPRするかを考えていくことが重要だ。」と講評いただきました。



3. アイデアソン参加者の声（参加者アンケート）

「とても有益だった」とした回答が 22 件で半数を超えており、好評を得ることができました。

参加の感想（イベントは有益だったか？）

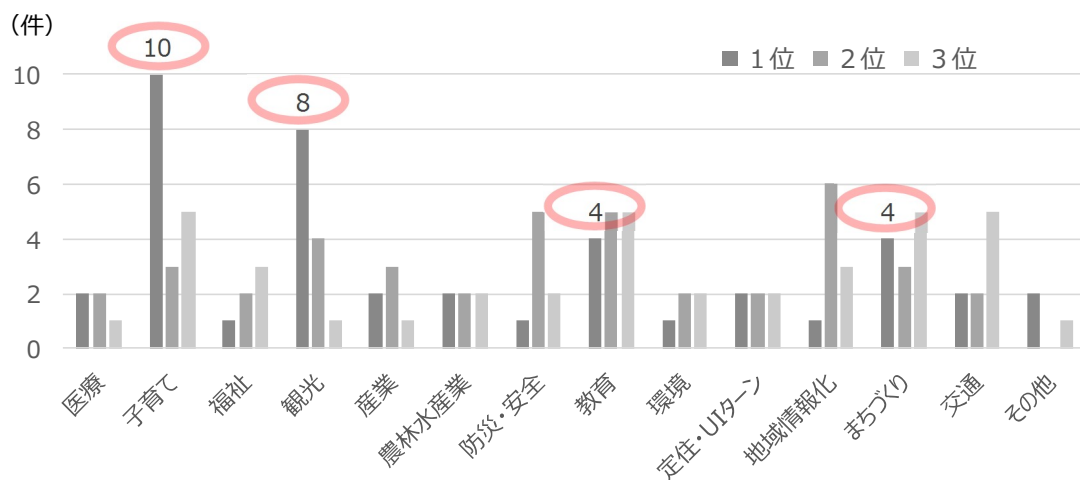


参加者の主な感想

有益だった点	<ul style="list-style-type: none"> ● 地域振興と情報（データ）はあまり関連が無いと思っていたが、様々な提案があり参考になった（行政職員） ● 今後のビジネスに活かせそうなアイデアがもらえた（IT 企業） ● 異業種の方とディスカッション、交流ができた（IT 企業、行政職員） ● IT を通して地域の課題、その解決策が見えた（研究機関）
改善点	<ul style="list-style-type: none"> ● 課題設定がざっくりしていた。もう少し掘り下げが必要であった（行政職員） ● 意見を述べる時間がもう少し欲しい（IT 企業、行政職員）

また、今後アイデアソンで取り上げて欲しいテーマとしては「子育て」が最も多く、次いで「観光」、「教育」、「まちづくり」でした。

オープンデータアイデアソンで取り上げてほしいテーマ（延べ回答数 = 121）



4. 今後に向けて

島根県では、アイデアソンの成果を踏まえ、オープンデータの公開促進に取り組んでいきます。

また、県民や企業の方々の関心が高い分野等を踏まえながら、データ利活用促進に寄与する各種イベントを継続して実施したいと考えていますので、本日参加できなかった方は、次の機会にぜひご参加ください！

以上